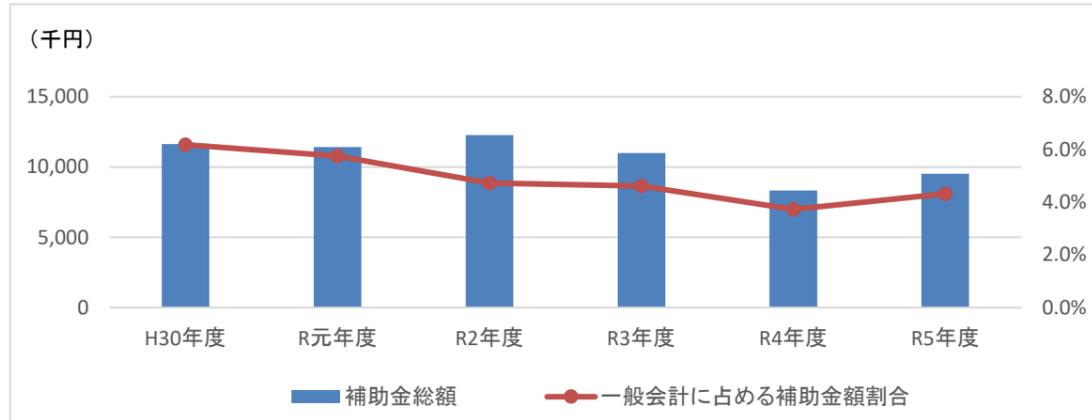


令和5年度 補助金事業の評価に係る学識経験者による意見聴取について(概要)

1 補助金の現状と課題

(1) 区における補助金の現状

○令和5年度予算のうちの補助金の額は約95億円で、この5年間で約0.8倍となっております。
※H30～R4年度は決算額。R5年度は8月1日時点の予算額。



(2) 現状における主な課題

平成27年度に補助金適正化専門委員(以下、専門委員)による評価・助言を受けて区は基準を策定し、平成28年度以降、基準をもとにした「補助金検証・評価シート」を用いながら、主管課において毎年度、補助金の見直しを行うなど、補助金の効率的・効果的な執行に努めているところである。(杉並区区政経営改革推進基本方針)

一方で、基準を策定してから7年が経過し、主管課における検証・評価の形骸化が懸念されていることや、この間に補助金等交付規則が制定されるなど、補助金を取り巻く状況は大きく変化している。

限られた財源をより効果的・効率的に執行していくために、①検証・評価の仕組みが適切に運用されているか、②既存の補助金が政策目的実現の手段として有効に機能しているかを中心に改めて見直しを行う必要がある。

2 これまでの補助金適正化の取組

- 平成16年度 補助金適正化懇談会(6回開催)
- 平成17年度 補助金適正化審査会(11回開催)
- 平成20年度 補助金適正化審査会(8回開催)
- 平成27年度 補助金適正化専門委員による評価・助言(4回)

<主な助言>

- ・見直しを行う際の基準や検証する仕組みが無い為、基準等の制定を助言
- ・評価・検証を行う際の手法が適切かどうかの評価も適宜見直しが必要

- 平成28年度 交付基準及び検証・評価基準の策定
補助金検証・評価シートに基づく見直し開始

- 令和元年度 評価の仕組みの検証

<主な見直し>

- ・補助金評価・検証シートの提出を決算時期から予算要求時へ変更
- ・政策誘導型の補助金を中心に終期設定までの交付目標を数値化し、効果測定を見える化
- ・運営費補助など、補助交付先の決算状況(自主財源や繰越金等)を確認し、補助額を適正化
- ・精算規定のない補助金は設けるよう促進
- ・政策誘導型だけでなく、可能な限り、他の分類の補助金にも終期設定を依頼

- 令和2年度 杉並区補助金等交付規則の制定

3 今回の評価について

前回(H27年度)の補助金適正化専門委員からいただいた主な意見を踏まえて、以下2つの検証・評価を行う。

(1) 補助金交付基準が適切か。検証・評価の仕組みが適切に運用されているか。

○H28年度に策定した「補助金交付基準及び検証・評価基準」「補助金検証・評価シート」に、この間(R元年度、R2年度)の区内部の見直しの視点を加えた新基準(案)・新シート(案)についての検証・評価。

(2) 新基準(案)に基づく個別補助金の評価

○財政当局で評価した以下の個別補助金について助言。

- ・主管課が評価を希望した補助金
- ・必要性、有効性、負担の適正化、手段の妥当性等の観点から、財政当局が選出した補助金

4 評価方法

(1) 補助金交付基準が適切か。検証・評価の仕組みが適切に運用されているか。

① 新基準(案)について説明し、適切か、よりよい観点があるかについて助言。

<現基準→新基準(案)の主な変更点>

- ・精算規定を明記
- ・杉並区補助金等交付規則に基づき、実績報告を明記 等

②「補助金検証・評価シート」を用いた検証・評価の仕組み及び現状の課題・懸念を説明し、新シート(案)について、適切か、よりよい観点があるかについて助言。

<現シート→新シート(案)の主な変更点>

- ・成果指標の設定理由の記載欄を追加
- ・補助金支出の根拠となる法令・施策等の記載欄を追加 等

(2) 新基準(案)に基づく個別補助金の評価

○評価の流れ

- ①各主管課が各補助金について調書(毎年の評価で使用する「補助金検証・評価シート」)及び補助金概要資料を財政当局へ提出
- ②財政当局が①で提出された調書等について新基準(案)を基に各補助金評価シートにより評価し、改善点や方向性について示す
- ③上記②の評価について、適切か、よりよい方向性の観点があるか等について助言

5 スケジュール

8月14日 第1回意見聴取

9月8日 第2回意見聴取

(1) 検証・評価の仕組みの評価

10月13日 第3回意見聴取

(2) 新基準(案)に基づく個別補助金の評価

11月上旬 評価結果について、財政課から各課へ提示。見直し内容に基づく当初予算の調整

11月上旬 必要に応じて、各課から補助金支出相手方へ予算要求状況の説明

令和6年4月～ 見直し後の補助金を執行